



# 令和6年度 千歳市立北陽小学校 学校経営グランドデザイン



学校教育目標 「自分や友だちのよさを生かし、心を豊かにしようとする子どもの育成」				
	【情】思いやりを持ち、助け合う子 (やさしい子)	【意】目標に向かって、努力する子 (がんばる子)	【知】自ら学び、深く考える子 (考える子)	【体】進んで体をきたえる子 (元気な子)
知識・理解	・明るい挨拶や時と場に応じた言葉遣いができる ・自他を尊重し、思いやりを表現することができる	・自己を見つめ、なりたいたい自分(夢や目標)を描くことができる	・基本的な学習内容・学習規律を身に付けることができる ・自分で計画を立て、学習習慣を身に付けることができる	・基本的な生活習慣を身につけることができる ・運動やスポーツへ親しみをもち、体を動かすことができる
思考力・判断力・表現力	・周りの人と楽しく生活するために必要なことを考え、行動にできる ・時と場に応じた、礼儀やマナーを身に付けている	・なりたいたい自分(夢や目標)の実現のためにすべきことを考え、粘り強く行動することができる	・自分の考えをもつとともに、他の人の考えをよく聞き、考えを深めることができる	・健康で安全な生活を送るためにすべきことを考え、行動することができる
学びに向かう力・人間性	・思いやりをもち他者と関わり合うことができる ・よりよい人間関係を築くことができる	・経験を生かし、新たなことに主体的に挑戦しようとする	・得た学びを新たな課題や生活に生かそうとする	・より健康で安全な生活を送るための行動ができる ・楽しみながら運動を継続しようとする

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
学習指導要領  
北海道教育推進計画  
石狩管内教育推進計画  
千歳市教育振興基本計画

- ・児童の実態
- ・保護者の願いや要望
- ・地域の思い
- ・教師の願い

### 目指す子ども像

- ・思いやりの気持ちを素直に表し、人の気持ちや立場を大切にできる優しい子ども
- ・自ら目標や課題を持ち、その実現に向かい最後まで粘り強くやり抜く子ども
- ・主体的に学習や運動に取り組み、互いに認め合い、高め合う子ども
- ・自分に自信を持ち、明るく前向きに生活する子ども

### 本校の目指す姿

### 目指す教職員像

- ・深く子どもを理解し、温かさや厳しさをもって指導する教職員
- ・教育のプロとして、常に専門性と指導力を磨く教職員
- ・『協働』を基盤に、組織的に学校づくりに向き合う教職員
- ・保護者、地域の人に誠意を持って接し、信頼される教職員

### 目指す学校像

- ・通いたい学校…明るく楽しく、笑顔があふれる学校
- ・あずけたい学校…通わせる喜び、ともにある喜びを実感できる学校
- ・勤めたい学校…誇りと意欲をもち、働く喜びを実感できる学校

**重点教育目標(中・長期的)**

「自己有用感の向上」 進んで学び、自他のよさを認めなかよく活動できる子どもの育成  
～支持的風土の学級づくりと授業改善を通して～

**令和6年度 重点教育目標**

『なりたいたい自分をもち、ともに高め合い 粘り強くやり抜く子』の育成  
～『チーム北陽』の追求を基盤とした教育の推進～

**勇舞中学校区 9年間で育てたい子ども像**

- ・志をもち、学び続ける児童生徒
- ・心豊かにたくましく生きる児童生徒

**研究主題**

対話を重視した「協働的な学び」を通した、個別最適な学びへ向かう児童の育成

(1) 凡事徹底 【自己指導能力】 【自己表現】【自主・自律】 【思いやり】	(2) 目標に向かい、粘り強く取り組む心を育む教育活動の推進 【主体性】【自己教育力】 【自己表現】【粘り強さ】	(3) 一人一人に確実な資質・能力の定着を図る授業改革の推進 【主体性】【対話】【ICT活用】 【学習習慣】	(4) 自他のよさを認め、自信と自己有用感を育む教育活動の推進 【関わり合い】【共生】 【生きる力】【思いやり】
<p>1, あいさつと返事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から、相手を見て、笑顔で、届く声で、時と場を考えて</li> </ul> <p>2, 姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立腰</li> </ul> <p>3, 言葉遣い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりが伝わる言葉</li> </ul> <p>4, 廊下歩行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守る意識</li> </ul> <p>※自発的・主体的成長を支える ※積み上げと繰り返し</p>	<p>1, 自己を見つめ、目標設定と振り返りを通して、やり通すことの大切さや自己の成長について自覚を促す</p> <p>2, 凡事徹底を基盤とした、落ち着いた環境づくりと自立心・自制心の向上を図る</p> <p>3, 学校全体及び学年・学級の工夫した取組の推進により、児童自らの主体性を育む</p>	<p>1, 「対話」を中心とした協働的な学びの推進により、深い学びの実現を目指す</p> <p>2, 学習計画の工夫、習熟度別少人数指導、補充学習やはげみタイムの活用、ICTの活用等による3層(のびしろ層・中間層・定着層)への確実な指導を推進する</p> <p>3, 各種データを活用した学校改善プランの策定と実践・検証により、子どもの学力定着を図る</p> <p>4, 6年間を見通した一貫性のある取組と家庭との連携により、家庭学習の習慣化を図る</p>	<p>1, 教育活動全般を通して多様な他者と関わり合う活動や思いやりの心を高める、意図的計画的な取組を工夫する</p> <p>2, 全職員が一体となって、共通理解と共同歩調で発達支持的な生徒指導を推進する</p> <p>3, 教育活動全体の中で道徳教育を推進し、自他の命や人権を大切にする気持ち、感謝や思いやりの気持ちを育む</p>
<p><b>(5) 信頼と連携を基盤とした教育活動の推進</b> 【協働・同僚性】【チーム北陽】【家庭・地域・小中連携】</p> <p>1, 教育目標の具現化に向け、組織として相互の信頼と協力を基盤としつつ、RPDCAサイクルに基づいた学校運営・教育活動を推進する</p> <p>2, 日常的なOJTの推進を図り、人材育成と教職員の持ち味を生かした運営組織の確立を図る</p> <p>3, 相互理解と連携を高めるために、家庭・地域との情報交流や、小中連携・小小連携に努める</p>			

『チーム北陽』